

【協力会社紹介】

有限会社仙一軌道工業 工藤専務

いつも大変お世話になっております。仙一軌道工業株式会社です。

仙一軌道工業株式会社は、2002年4月に盛岡工事所を設立し、主に好摩出張所管内におけるIGRいわて銀河鉄道の線路修繕工事を担っています。長年にわたり、安全を最優先とした確実な施工で、地域鉄道の安定輸送を支えています。掲載の写真は、同社でご活躍中の工藤専務と申します。工藤専務は日々の保線作業に真摯に向き合い、確かな技術と高い安全意識をもって業務に取り組まれています。



先日開催された仙建工業(株)盛岡支店 安全衛生協力会(安全研修会)では、仙一軌道工業株式会社として日頃から取り組まれている安全性向上への活動内容について発表され、大変有意義な内容として高い評価を受けました。

また、工藤専務は軌作責として大規模工事の経験も重ねており、その実績を糧に、さらなる活躍の場の拡大と、より一層安全意識の高い会社を目指して精進してまいります。

○重点実施項目

2025年度における安全への取り組みにつきましては、重大事故および注意を要する事象は完封しました。一方で、幸いにも軽傷で済んだものの、傷害事象を1件発生させてしまいました。



【安全衛生協力会での発表の様子】

この結果を真摯に受け止め、再発防止に向けた取り組みを強化してまいります。

① 実設訓練、実技訓練の充実

毎月開催している安全会議では、線路への立ち入り・退出時の「ケジメ」を必ず実施し、基本動作の徹底を図っています。安全確保の原点は、基本に忠実な作業の積み重ねであると考えています。

馬頭踏切修繕工事における「ボーダン化(敷板交換)」作業については、初めて実施する作業であるため、実際に線路外でききょうを組み立て、事前に実技訓練を行いました。

また、省人化および作業効率向上を目的に、好摩出張所のご協力のもと軌陸Wキャブを使用しており、その使用に際しても取扱訓練を実施し、安全に作業できる体制づくりに努めています。



【軌陸ダンプ取扱訓練】

② 若手育成の取り組み

人材育成の面では、MCOPについて現在2名体制で運用しており、計画的な育成を進めています。

また、軌道作業責任者についても作業編成に積極的に組み込み、大規模工事を経験させることで、実践を通じた技術力・判断力の向上を図っています。

○2025年度安全大会

今年度は、救命救急に関する実技講習を実施しました。講習では、参加者一人ひとりが真剣な姿勢で取り組み、講師を務めていただいた消防隊員の方へ積極的に質問を行う場面も多く見られました。



【救命救急実技講習】

「このような状況ではどのように対処すべきか」といった具体的な質問が挙がるなど、受け身ではなく、自ら考え行動しようとする姿勢が印象的で、大変有意義な講習となりました。



【全体集合写真】

《職場のホープの紹介》

○大木 陽介(おおき ようすけ) 34才

2025年1月に入社し、真面目で誠実な性格のもと、どのような作業にも積極的に取り組んでいます。器具員数の確認をはじめ、各作業に対して責任意識をもって対応しており、着実に経験を積んでいます。また、列車見張員の資格も取得し、安全確保において重要な役割を担えるようになりました。今後もさらなる知識・技術の向上を図り、より一層レベルアップしていくことを期待しています。

【鉄道経験】 1年3カ月

【抱負】 列車見張員の経験を積む

【特技】 体のバランス感覚

【趣味】 基本インドアです

【夢】 国内旅行で全国を巡る



○岩泉 琉唯(いわいずみ るい) 22才

2025年3月に入社し、寡黙ながらも黙々と作業に取り組む姿勢が印象的です。一つひとつの業務に真摯に向き合い、確実な作業を心がけています。

また、列車見張り員の資格も取得し、安全確保の面でも重要な役割を担えるようになりました。所内で最も若い存在として、今後さらなる経験を積み、技術・知識ともに一層のレベルアップを期待しています。

【鉄道経験】 1年1カ月

【抱負】 現場で足を引っ張らないよう自分から率先して動く

【特技】 車いじり

【趣味】 車、アウトドア

【夢】 車で有名になる

